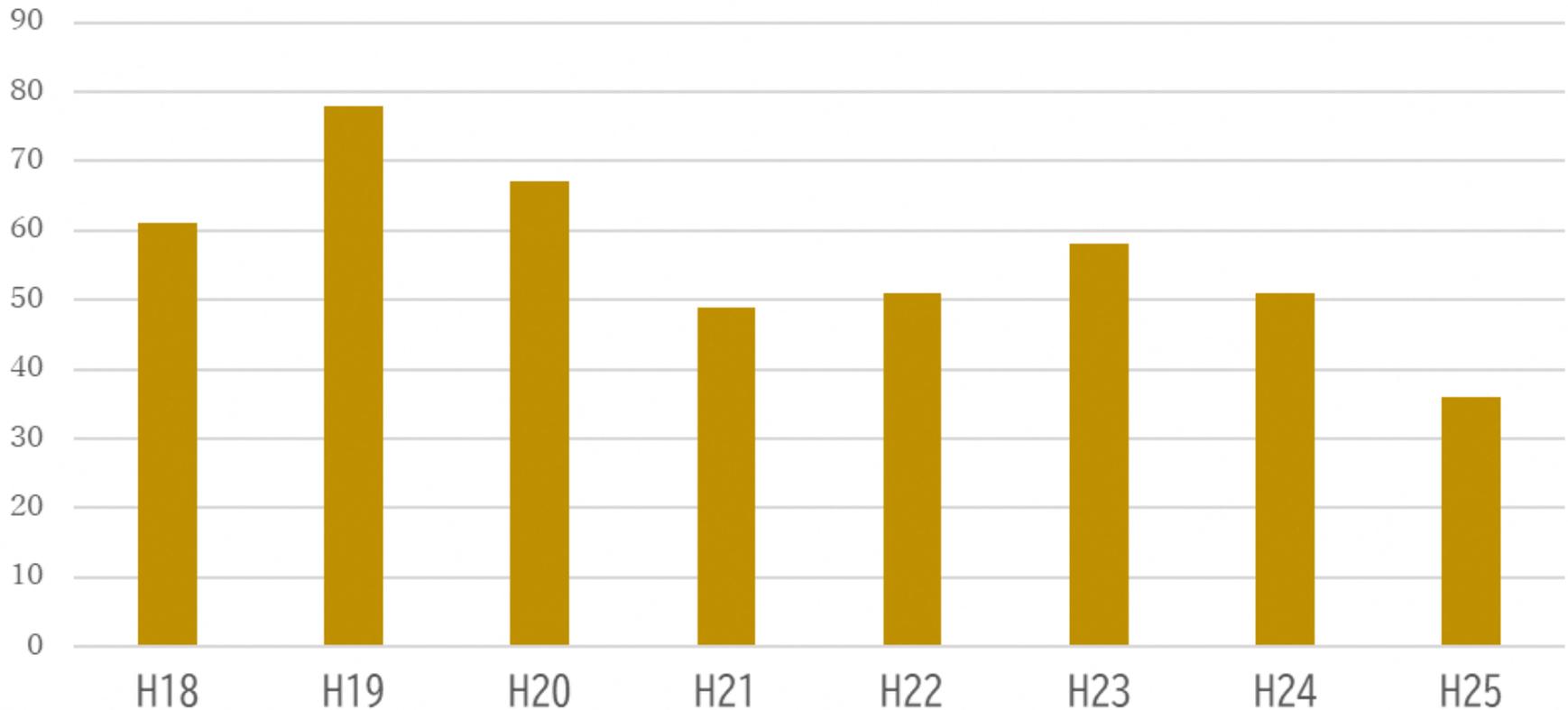


虐待の定義と内容

児童虐待による子どもの死亡人数（心中を除く）



※ H18年 1/1～12/31

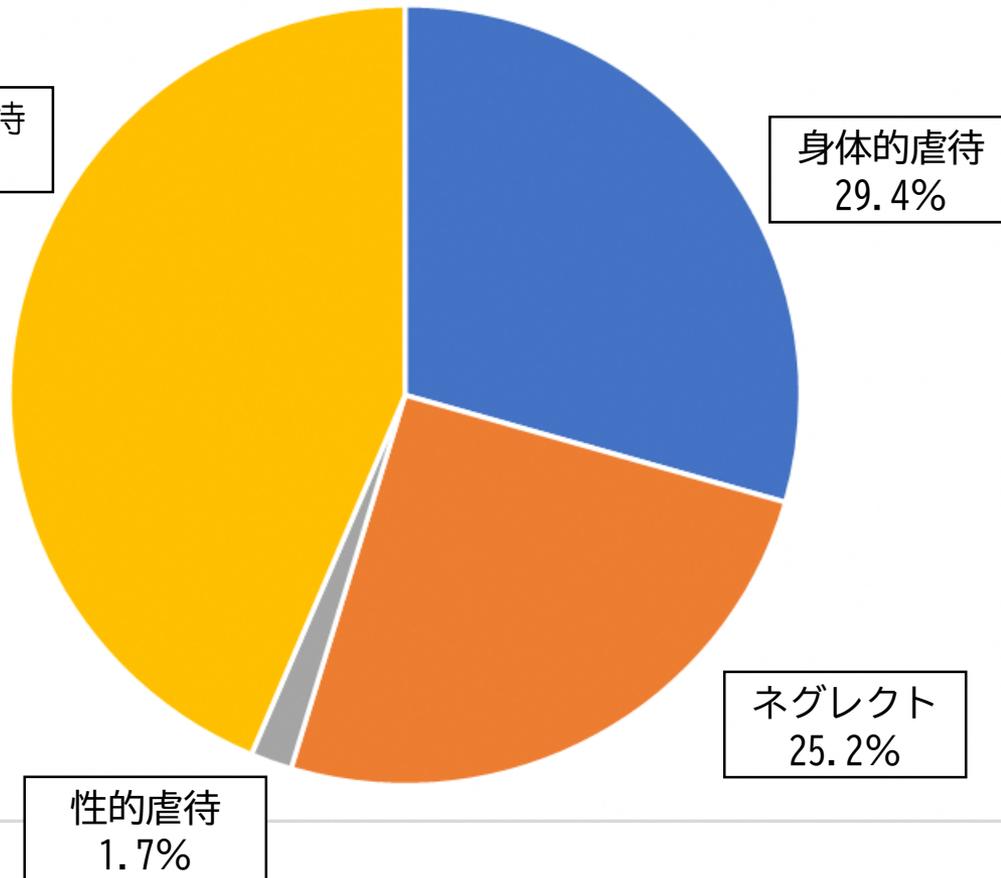
※ H19年 1/1～H20年3/31

※ H20年～ 4/1～翌年3/31

厚生労働省 H26

虐待の定義と内容

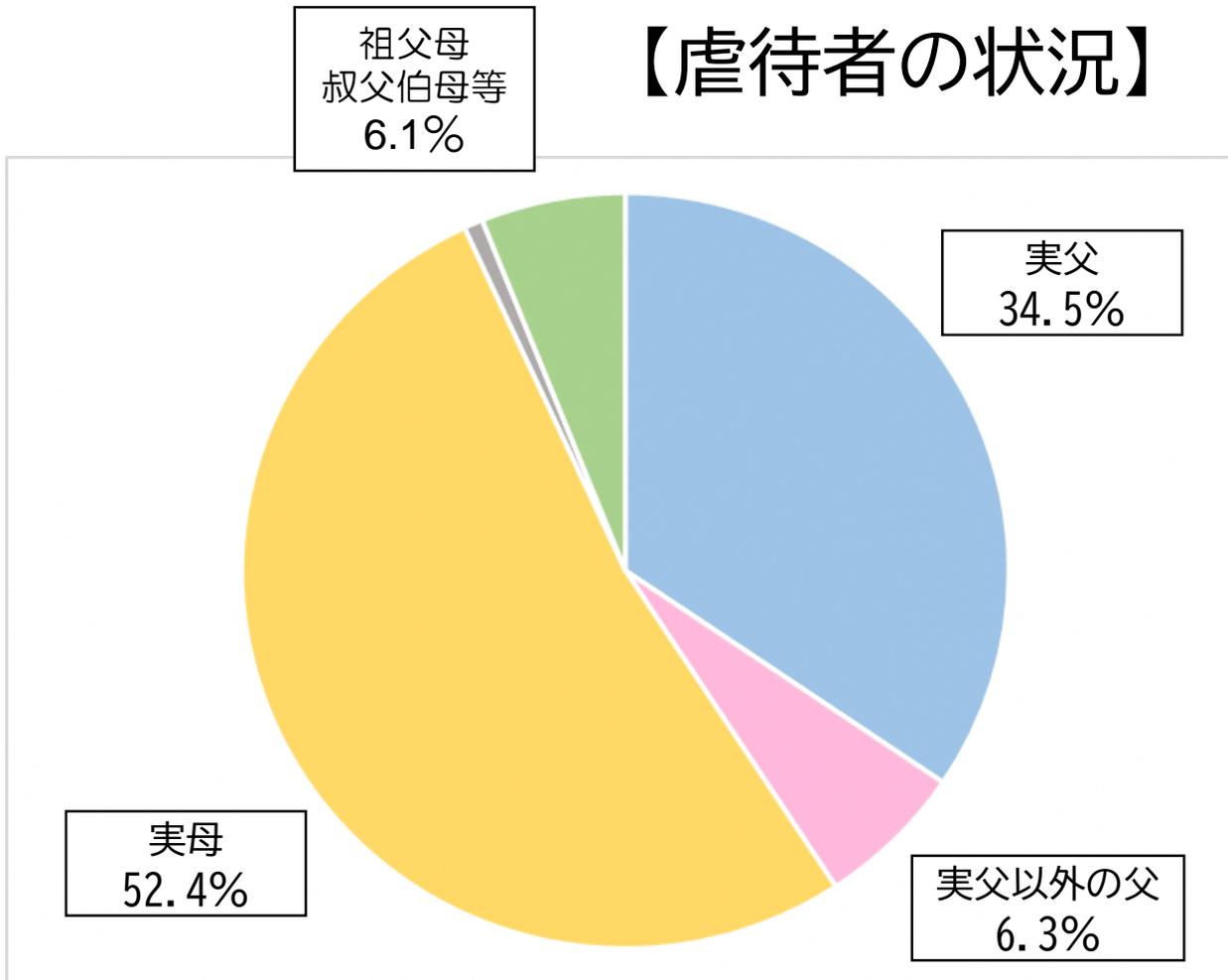
【児童虐待相談対応件数の内訳】



身体的虐待	26,181
性的虐待	1,520
ネグレクト	22,455
心理的虐待	38,775
計	88,931

虐待の定義と内容

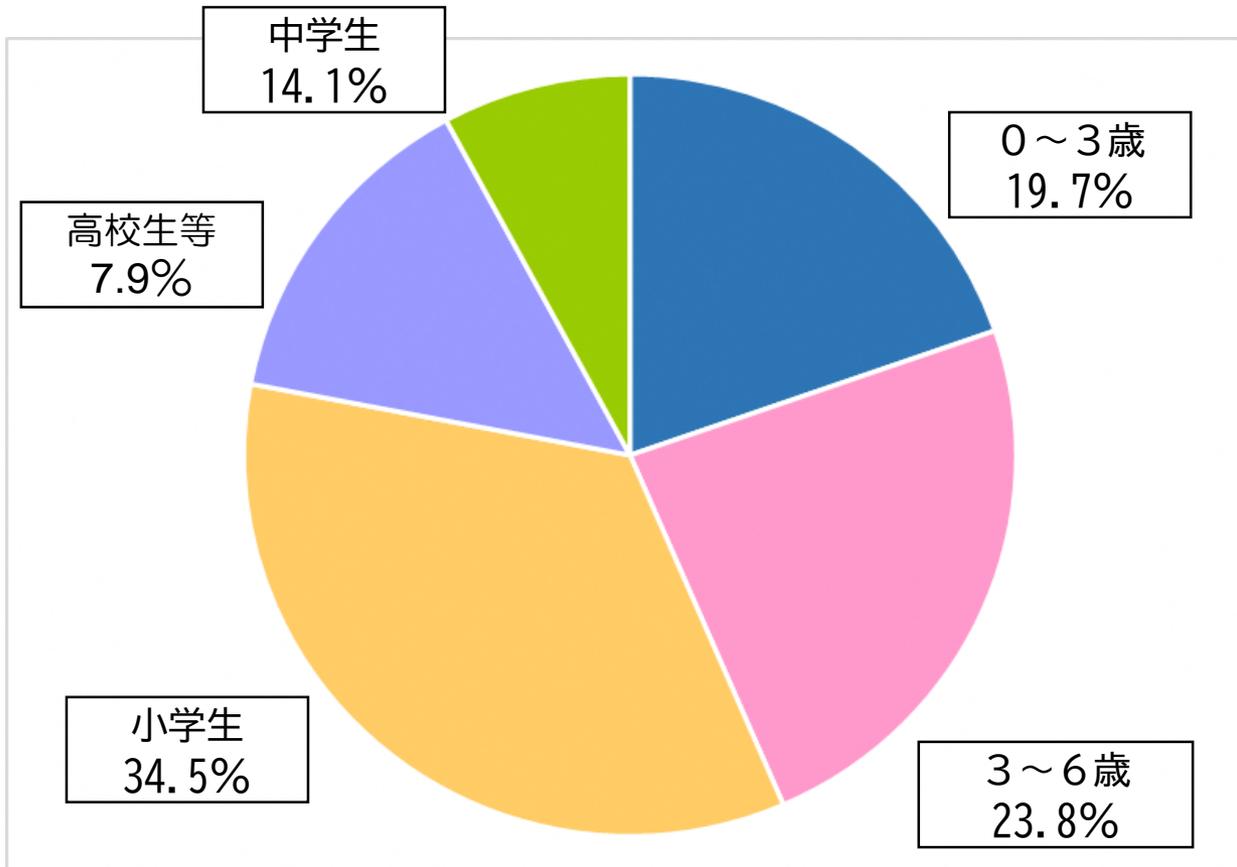
【虐待者の状況】



実父	30,646
父（実父以外）	5,573
実母	46,624
母（実母以外）	674
祖父母 叔父伯母、等	5,414
計	88,931

虐待の定義と内容

【虐待を受けた年齢】



0~3歳未満	17,479
3~6歳未満	21,186
小学生	30,721
中学生	12,510
高校生、等	7,035
計	88,931

虐待の定義と内容

児童虐待のサイン

子ども	保護者	状況
<ul style="list-style-type: none">●表情が乏しい●触られること・近づくことをひどく嫌がる●乱暴な言葉遣い●極端に無口●家に帰りたがらない●性的に逸脱した言動●異常な食行動、衣服が汚れている等	<ul style="list-style-type: none">●感情や態度が変化しやすい●イライラしている●余裕がないように見える●子どもへの近づき方・距離感が不自然●人前で子どもを厳しく叱る・叩く●家の様子が見えない等	<ul style="list-style-type: none">●説明できない不自然なケガ・繰り返すケガ●親子でいるときは親を窺う態度や表情が乏しいが親がいなくなると急に表情が晴れやかになる●その家庭に対する近隣からの苦情や悪い噂が多い等

政府広報から転載

まとめ

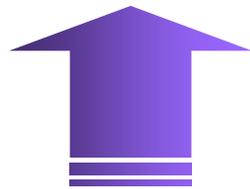
【生徒の特性】

- ①好きなことをして暮らしたいと願っている。
- ②家にいたくないと思っている。
- ③人に迷惑をかけていないと思っている。
- ④この行動が後にどういう結果を招くか、予想できない。

【学校での指導・教育】

机上シミュレーションの効果と限界

- ・好みの男性に言い寄られたら嫌と言えない。



- ここに「きっかけ」があれば行動してしまう生徒達。
- 「きっかけ」としての目に見えない虐待とその累積。

まとめ

<生徒側のきっかけ>

- ①怠学
 - ・遅刻、欠席が多い。サボる。
 - ・不登校の傾向がある。
- ②対人関係
 - ・コミュニケーションが苦手。
 - ・人間関係上のトラブルが多い。
 - ・感情のまま行動する。すぐにキレる。
- ③生活面
 - ・家出、外泊がある。
 - ・生活が不規則。不衛生。
 - ・喫煙する。ピアスをつける。服装が派手。
 - ・決まりやルールを守れない。

<家庭側のきっかけ>

- ①上記の件について、我が子に指導しない（できない）。
- ②逆に、子どもを怒鳴りつけて当たり前と思っている。
- ③例えば、諸費の未納がある。